

社会的ハイリスク妊婦への支援と
多職種連携に関する手引書

目次

はじめに 手引書における理念・基本となる考え方	1
I. 第1次光田班成果	1
II. 社会的ハイリスク妊娠の概念・定義	2
III. 社会的ハイリスク妊娠の把握	2
IV. 社会的ハイリスク妊娠支援の困難さ	3
V. 医療・保健・福祉の連携	4
VI. メンタルヘルス	5
VII. おわりに	6
第1章 社会的ハイリスク妊婦とは	7
I. はじめに	7
II. ハイリスク妊産婦とは	7
III. ハイリスク妊産婦の頻度・リスク因子	7
IV. ハイリスク妊産婦のリスクアセスメント	8
V. 定義に関する考察	10
第2章 社会的ハイリスク妊産婦への支援にかかわる機関・職種	13
I. 社会的ハイリスク妊産婦への支援にかかわる機関とその役割	13
II. 社会的ハイリスク妊産婦への支援にかかわる職種の役割と特徴	21
産科医	21
精神科医	22
小児科医	23
助産師	24
医療ソーシャルワーカー	25
保健師	27
児童福祉司	28
第3章 社会的ハイリスク妊産婦への医療機関における支援	29
I. 大阪母子医療センターにおける社会的ハイリスク妊産婦の支援の実際	29
1. 産科医療機関における助産師・看護師の役割	29
2. 産科医療機関が関与する妊娠期からの子ども虐待予防の必要性	30
3. 医療機関から始まる多職種他機関連携（産科医療機関でできること）	30
4. 妊婦健診で産科看護師・助産師ができる妊婦支援	31
5. 特定妊婦への支援	31
6. 具体的な支援の方法	32
7. 事例を通してみる連携の実際	39
8. 産科医療機関の現場での葛藤	44
II. 日本赤十字社医療センターにおける社会的ハイリスク妊産婦の支援の実際	47
1. 社会的ハイリスク妊産婦スクリーニング導入と経過	47
2. 社会的ハイリスク妊産婦のスクリーニングシステムの実際	49

3. 産後健診までの支援	51
4. 支援体制のまとめ	52
第4章 社会的ハイリスク妊婦への地域における支援	53
I. 地域における母子保健施策	53
II. 母子保健施策における虐待予防	55
III. 地域における妊娠中から支援が必要な妊婦（特定妊婦）の把握と支援の実際	58
第5章 社会的ハイリスク妊婦支援における連携・協働の実際	63
I. 連携とは	63
II. 連携体制の構築に向けて	63
III. 産科施設における社会的ハイリスク妊婦への支援体制の実態調査	64
(1) 社会的ハイリスク妊婦への産科施設内の体制	64
(2) 社会的ハイリスク妊婦への産科施設と多機関との連携	66
第6章 社会的ハイリスク妊婦に関わるさまざまな支援・事業	68
I. 周産期に関わる支援・事業	68
(1) 妊娠 SOS	68
(2) 産前・産後サポート事業	68
(3) 産後ケア事業	69
(4) 子育て世代包括支援センター	69
II. 福祉に関わる支援・事業	69
(1) 児童福祉法に基づく児童相談所の役割	69
(2) 社会的ハイリスク妊婦に対して実施する児童相談所の支援及び機能	70
(3) 児童福祉法による子育てを支援するサービス	72
(4) 里親制度と特別養子縁組	72
III. メンタルヘルスへの支援	73
(1) メンタルヘルスの不調がある妊婦の特徴	73
(2) メンタルヘルスの不調がある妊婦への支援	74
IV. ドメスティック・バイオレンスに関する支援	78
(1) ドメスティック・バイオレンスとは	78
(2) DV のアセスメント	78
(3) DV にあっている女性への支援	79
第7章 用語解説	81
I. 社会的ハイリスク妊娠・特定妊婦に関する用語	81
II. 児童虐待に関する用語	81
III. 社会的ハイリスク妊婦の支援に関する用語	83
IV. その他の関連する用語	84